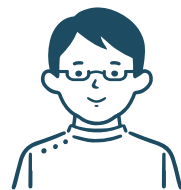




教えて! 市立病院



【今月のドクター】
診療部産婦人科医員
くに い かつとし
國井 勝俊 医師

〈第 132 回〉

更年期について

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

更年期とは閉経前後5年間を指し、更年期障害とは器質的变化に起因しない(=他の病気によらない)、更年期に現れるさまざまな症状を指します。主に自律神経失調症、精神神経症状、その他の3つに分けられます。精神神経症状は心理的・環境的要因とも関与します。

- 1 自律神経症状：熱感、のぼせ、動悸、発汗、不眠、めまいなど
- 2 精神神経症状：いろいろ感、不安感、抑うつ気分、情緒不安定、頭重感など
- 3 その他：運動器症状(腰痛、関節痛)、消化器症状(嘔気、食欲不振)、皮膚症状(乾燥感、かゆみ)、頻尿、性交障害、外陰部違和感など

診断には更年期指数(自覚症状を点数化したもの)、血液検査(ホルモン検査)を参考にすることがあります。また、更年期症状と似た症状を呈するものに精神疾患、甲状腺疾患、心疾患、月経前症候群などがあります。これらの疾患がある場合はまずそちらの治療を優先してもらうことが多いです。

治療はホルモン補充療法、漢方、自律神経調節薬、カウンセリング、抗不安薬などがあります。ホルモン補充療法には塗り薬・貼り薬・内服薬があります。ただし、活動性の乳癌・子宮体癌、脳卒中や心筋梗塞の既往がある場合などは行えません。漢方はそういった縛りがなく、幅広く使われます。また、更年期障害は一生続くわけではなく、閉経後5年程度で治まります。

閉経後は、更年期障害以外にも脂質異常症や骨粗鬆症の頻度が上昇します。健康診断を定期的に受け、バランスの良い食事や運動も心掛けましょう。